



2025年度 第1四半期決算

富士電機株式会社

2025年7月31日

■2025年度 第1四半期実績（対前年）

売上高
2,479億円
(+115億円)

営業損益
181億円
(+8億円)

営業利益率
7.3%
(-0.0%)

- ・ 売上高、営業損益はエネルギー、インダストリーが牽引して過去最高を更新

■2025年度 第2四半期（中間期）予想（対4/25予想）

売上高
5,340億円
(+150億円)

営業損益
405億円
(+65億円)

営業利益率
7.6%
(+1.0%)

純損益
235億円
(+45億円)

- ・ 1Q決算を踏まえて全セグメントで売上高、営業損益を上方修正

■2025年度 通期 予想

- ・ 上期の業績予想の修正を反映、下期は当初予想を据え置く
通期業績予想は国内外の市場環境、お客様の投資動向等を精査

1. 2025年度 第1四半期実績	P. 4
2. 貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書	P.15
3. 2025年度 業績予想	P.18
4. 参考資料	P.21

1. 2025年度 第1四半期実績	P. 4
2. 貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書	P.15
3. 2025年度 業績予想	P.18
4. 参考資料	P.21

第1四半期 連結業績概要（対前年）

売上高、営業損益は過去最高を更新

	2024年度	2025年度	増減
売上高	2,364	2,479	115
営業損益 (営業利益率)	173 (7.3%)	181 (7.3%)	8 (-0.0%)
経常損益	183	173	-9
特別損益	3	-2	-5
税金等調整前 四半期純損益	185	171	-14
法人税等	59	58	-1
非支配株主に帰属する 四半期純損益	12	4	-7
親会社株主に帰属する 四半期純損益 (純利益率)	115 (4.9%)	109 (4.4%)	-6 (-0.4%)

(億円)

売上高増減

海外子会社の為替換算差による減収	-45
需要増	+161

営業外損益増減

		2024 年度	2025 年度
<u>営業外損益増減</u>			
金融収支	(-1	4	→ 3)
為替差損益	(-18	11	→ -7)
その他	(2	-5	→ -3)
	(-18	10	→ -8)

特別損益増減

投資有価証券売却損益	(-2) 2 → 0
その他	(-2) 0 → -2
	(-5) 3 → -2

(期末レート：6月末)

(円)

US\$	161.07	144.81	-16.26
EURO	172.33	169.66	-2.67
RMB	22.04	20.19	-1.85

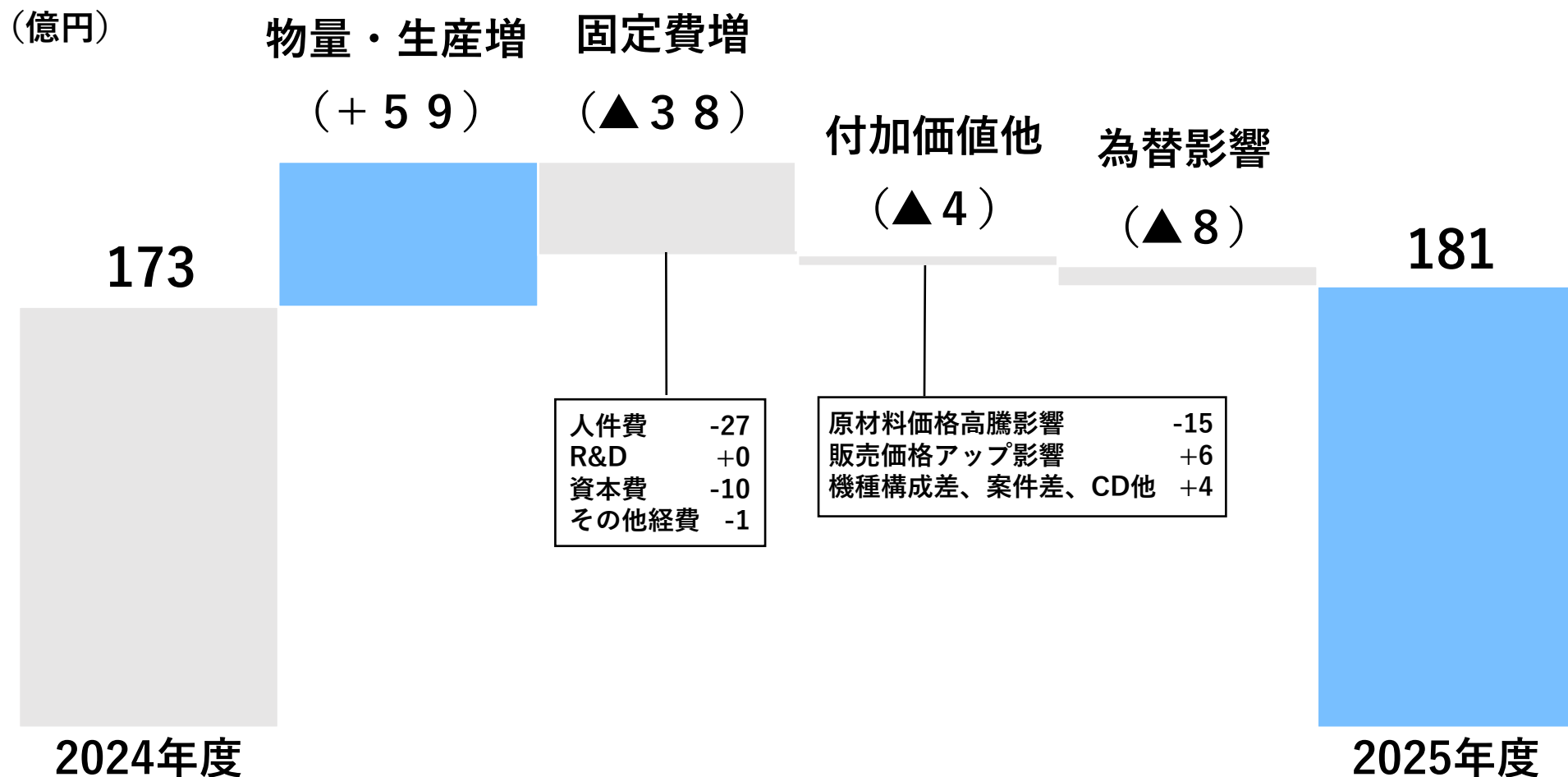
(平均為替レート)

(円)

US\$	155.88	144.59	-11.29
EURO	167.88	163.80	-4.08
RMB	21.48	19.99	-1.49

第1四半期 営業損益増減分析（対前年）

固定費増、原材料価格高騰による影響があるものの
物量・生産増、販売価格アップ、機種構成差、コストダウン等により増益



第1四半期 セグメント別売上高・営業損益（対前年）

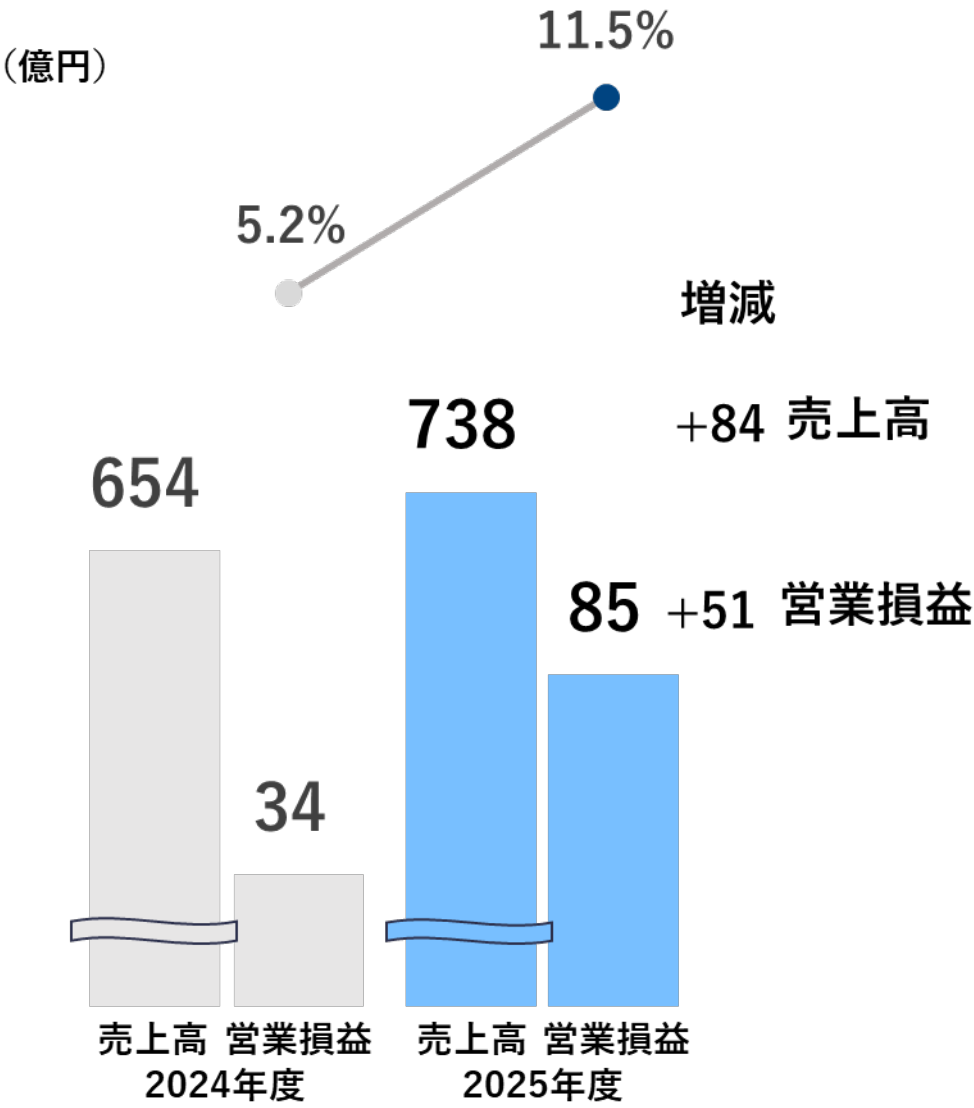
売上高はエネルギー、インダストリーが牽引
営業損益は半導体、食品流通の減益をエネルギー、インダストリーが挽回し増益

(億円)	2024年度			2025年度			増減				
	売上高	営業 損益	営業 利益率	売上高	営業 損益	営業 利益率	売上高	営業 損益	営業 利益率		
エネルギー	654	34	5.2%	738	85	11.5%	-3*	84	-0*	51	6.3%
インダストリー	804	19	2.3%	878	29	3.3%	-21*	73	-2*	10	0.9%
半導体	539	77	14.3%	548	49	8.9%	-22*	10	-6*	-28	-5.4%
食品流通	307	52	16.9%	263	31	11.9%		-44		-20	-5.0%
その他	138	8	5.7%	138	8	5.6%		-1		-0	-0.1%
消去または全社	-78	-17	-	-85	-20	-		-7		-3	-
合計	2,364	173	7.3%	2,479	181	7.3%	-45*	115	-8*	8	-0.0%

*為替影響

※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています

■エネルギー



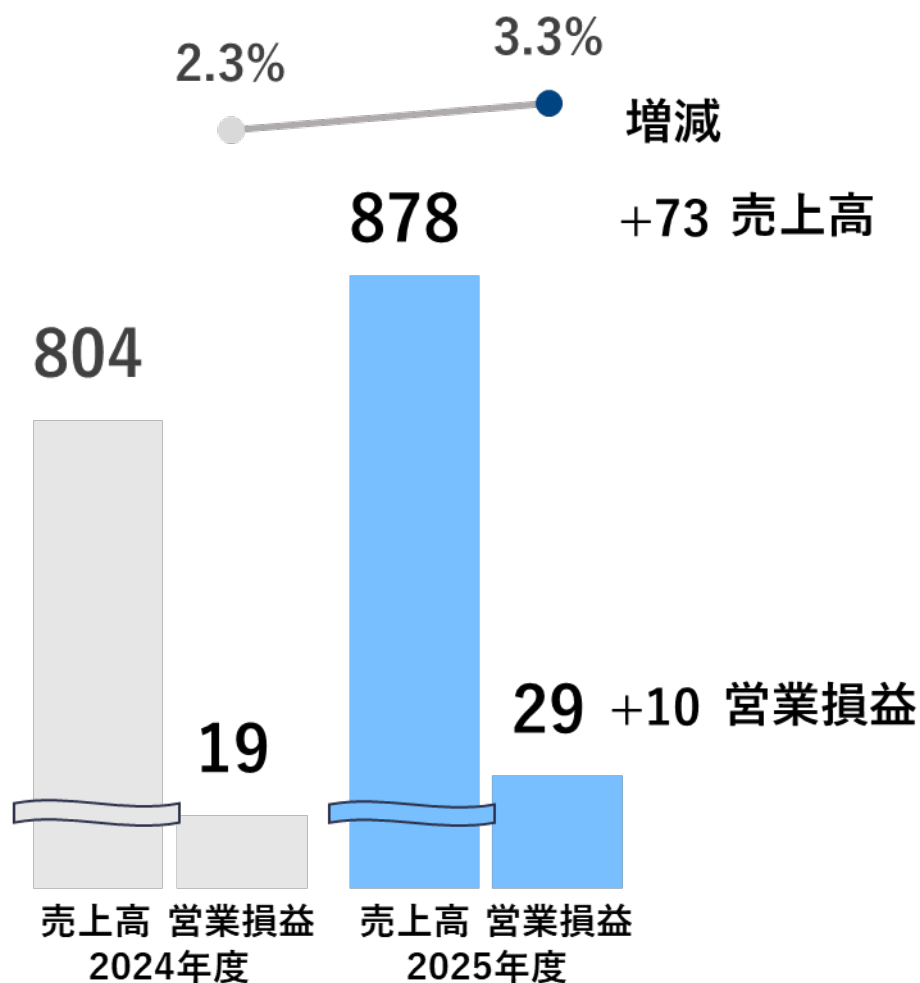
発電プラント	<p><u>減収増益（1%減収）</u></p> <p>原子力関連の大口案件が増加したものの、再生可能エネルギーの大口案件の影響等により、売上高、営業損益ともに前年同期と同水準となりました。</p>
エネルギー マネジメント	<p><u>増収増益（23%増収）</u></p> <p>蓄電システム案件の増加や、電力及び産業向け変電機器の大口案件の増加等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。</p>
施設・電源 システム	<p><u>増収増益（18%増収）</u></p> <p>データセンター向け需要の増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。</p>
設備工事	<p><u>増収増益（3%増収）</u></p> <p>大口案件の増加や、案件差及び原価低減の推進等により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。</p>

※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています

第1四半期 セグメント別概況（対前年）

■インダストリー

（億円）

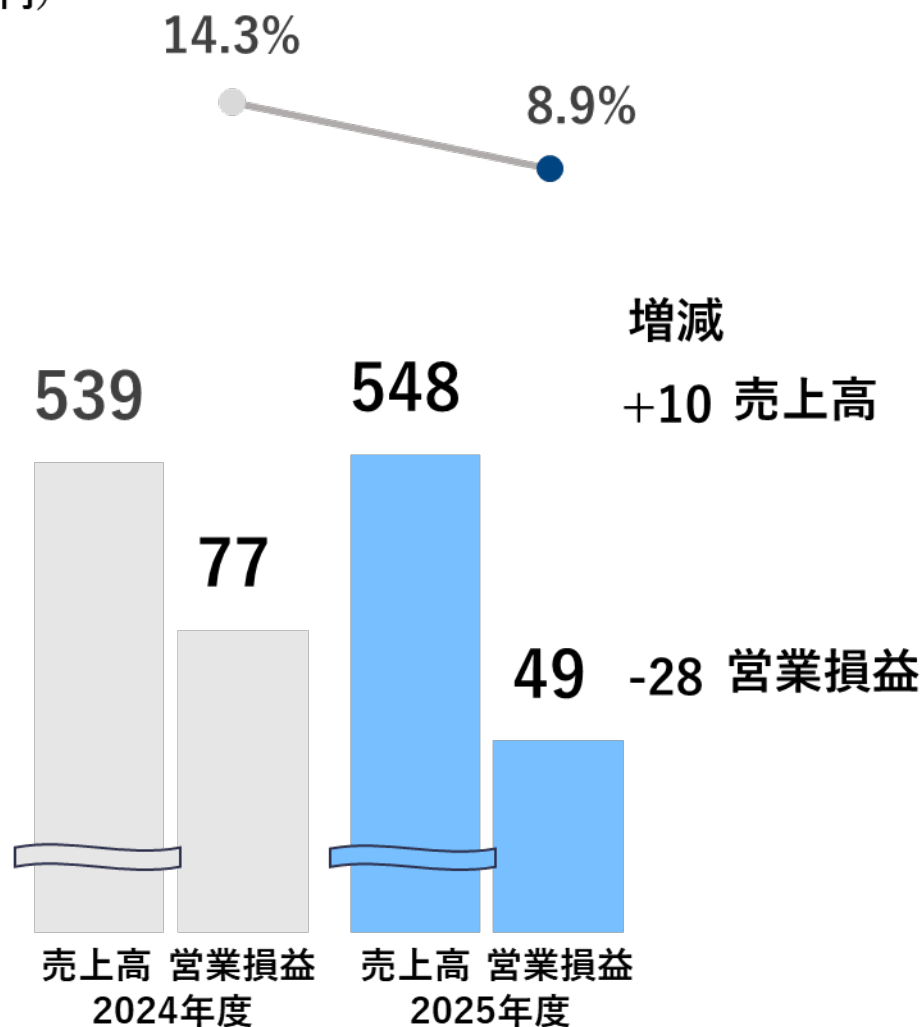


F A コンポーネント	<p><u>減収増益（2%減収）</u></p> <p>低圧インバータは前年同期並みで推移したものの、為替影響により売上高は前年同期を下回りました。一方で、営業損益は前年同期を上回りました。</p>
オート メーション	<p><u>増収減益（11%増収）</u></p> <p>駆動制御システム、計測制御システムの鉄鋼分野向け需要の増加等により売上高は前年同期を上回りましたが、大口案件の費用増により、営業損益は前年同期を下回りました。</p>
社会 ソリューション	<p><u>増収増益（10%増収）</u></p> <p>輸送システムの需要増により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。</p>
器具	<p><u>増収減益（7%増収）</u></p> <p>機械セットメカ向け需要の緩やかな回復により、売上高は前年同期を上回りましたが、原材料価格の高騰影響により、営業損益は前年同期を下回りました。</p>
I T ソリューション	<p><u>増収増益（30%増収）</u></p> <p>文教分野の大口案件の増加により、売上高、営業損益ともに前年同期を上回りました。</p>

第1四半期 セグメント別概況（対前年）

■半導体

（億円）



増収減益（2%増収）

売上高は、産業分野では、為替影響があったものの、海外における再生可能エネルギー向けを中心とした需要増により、前年同期を上回りました。電装分野では、電動車（xEV）向けパワー半導体の国内向けの需要が増加したものの、海外向けの需要の減少と為替影響により、前年同期を下回りました。

営業損益は、産業分野における売上高の増加があったものの、生産能力増強等に係る費用の増加、原材料価格の高騰、為替影響等により、前年同期を下回りました。

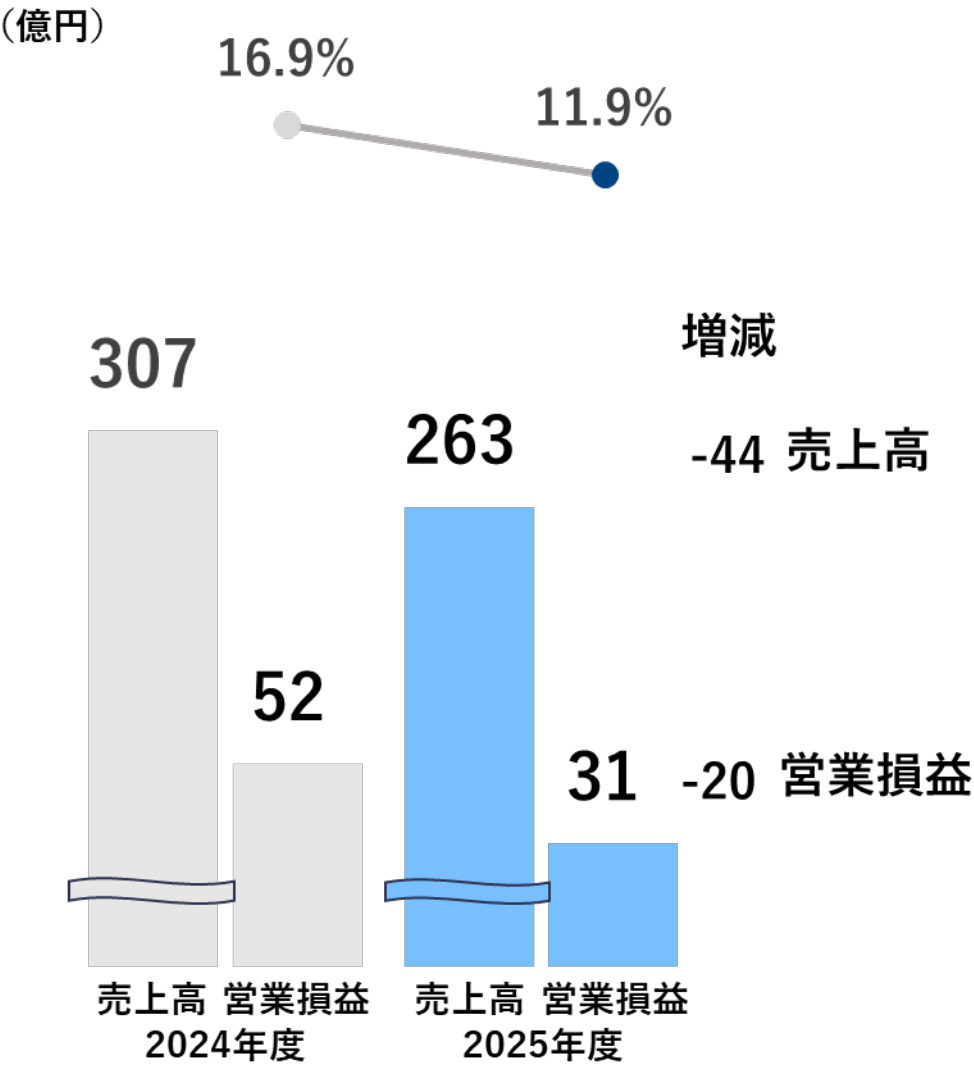
（億円）

売上高	2024年度	2025年度	増減
産業	264	278	14
電装	275	270	-4

設備投資	280	90	-190
資本費※	89	94	5

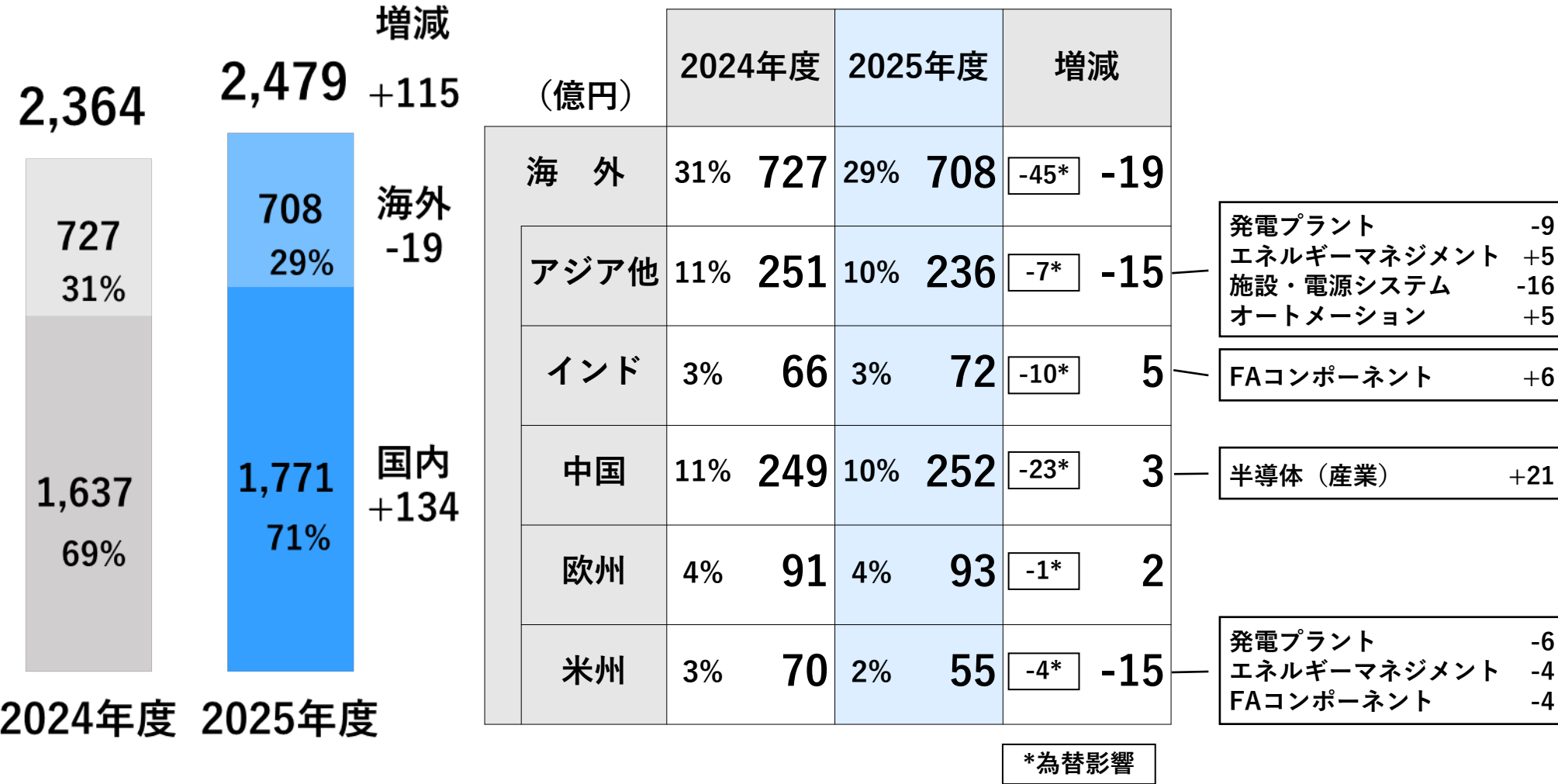
※資本費は、決算短信に記載の減価償却費および支払いリース料の総額

■ 食品流通



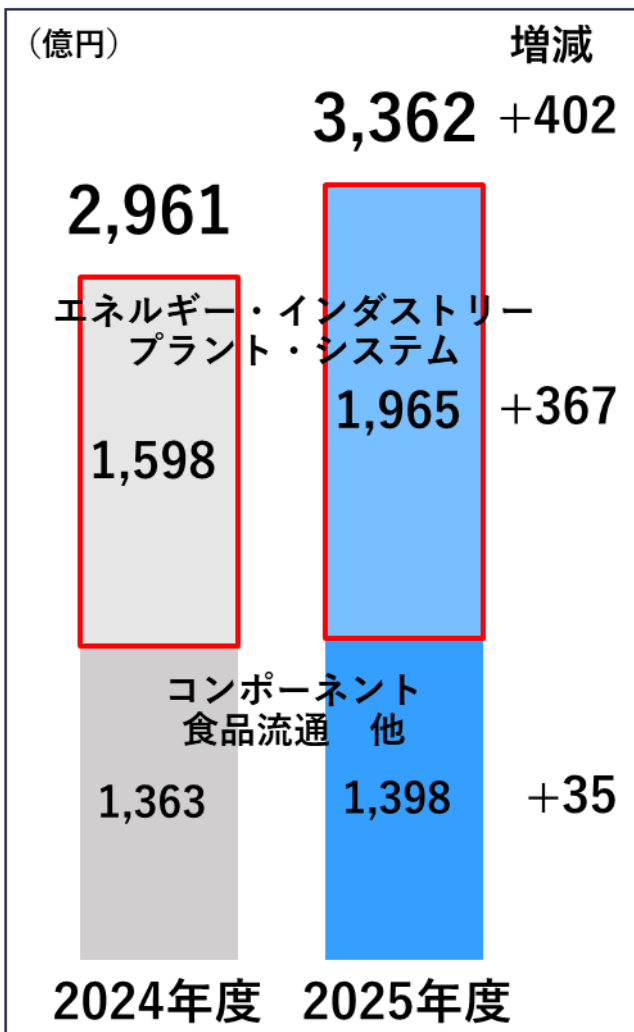
自販機	<p><u>減収減益（14%減収）</u></p> <p>国内自販機の需要減少により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p>
店舗流通	<p><u>減収減益（15%減収）</u></p> <p>コンビニエンスストアの改装増加に伴う店舗設備機器の需要増があったものの、前年同期の改刷対応特需の反動により、売上高、営業損益ともに前年同期を下回りました。</p>

海外売上高は為替影響により減収
中国は半導体（産業）の再エネ向けで増収



※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています

エネルギー、インダストリーのプラント・システムが増加
エネルギーマネジメント、施設・電源システムは好調継続



エネルギー +81

エネルギーマネジメント -

再エネ安定化、変電システムの需要増

施設・電源システム -

データセンター向け需要増

インダストリー +285

社会ソリューション -

輸送システムの需要増

ITソリューション -

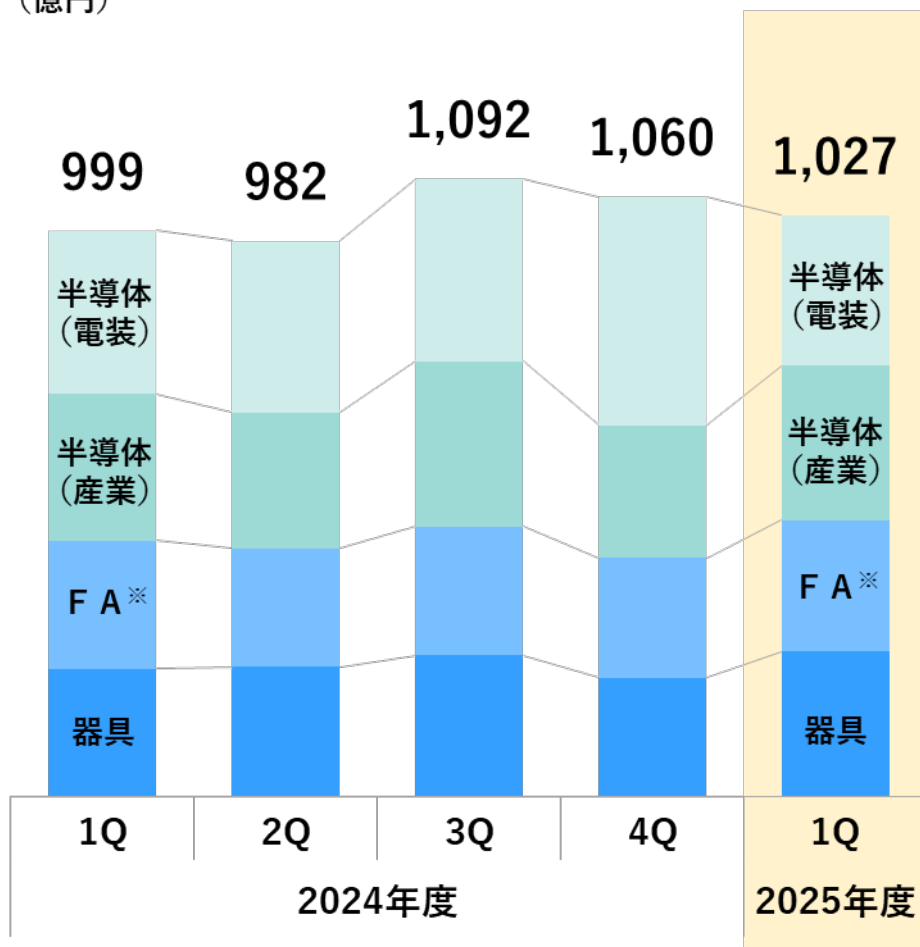
文教向け需要増(セカンドGIGA)

※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています

第1四半期 受注高（主要コンポーネント）

前年同期に対して受注増も回復は緩やか

（億円）



1Q 対前年	1Q 対4Q
+27 -29*	-34 +54*

-8%
(-6%)

-34%
(-36%)

海外の需要減

販売価格改定影響および需要減

+5%
(+12%)

+16%
(+4%)

中国の再エネ向け需要増

+3%
(+5%)

+10%
(+5%)

低圧インバータの需要増

欧州のプラント向け機器需要増

+14%
(+16%)

+22%
(+16%)

国内：機械セットメーカー回復基調
中国：半導体製造装置増

*為替影響

()は為替影響除く実質増減率

※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています

※FAの対象機種は、低圧インバータ、回転機、計測機器

1. 2025年度 第1四半期実績	P. 4
2. 貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書	P.15
3. 2025年度 業績予想	P.18
4. 参考資料	P.21

第1四半期末 貸借対照表（対前年度末）

総資産は、売上債権の減少を主因に減少

資産の部	25/3/31	25/6/30	増減
現金及び預金	635	597	-38
売上債権	4,178	3,562	-616
棚卸資産	2,387	2,523	137
その他	467	538	72
流動資産 計	7,667	7,221	-445
有形固定資産	3,471	3,432	-39
無形固定資産	303	313	10
投資その他の資産	1,680	1,753	72
固定資産 計	5,454	5,498	43
繰延資産	1	1	-0
資産 合計	13,122	12,720	-402
自己資本比率	52.7%	54.6%	1.9%
ネット有利子負債※1	422	679	257
ネットD/Eレシオ※2	0.1倍	0.1倍	0.0倍

負債・純資産の部	25/3/31	25/6/30	増減
買入債務	1,928	1,601	-327
有利子負債	1,049	1,269	220
その他負債	2,838	2,525	-313
負債 合計	5,815	5,395	-420
資本金	476	476	-
資本剰余金	646	646	0
利益剰余金	4,939	4,923	-16
自己株式	-43	-43	-0
株主資本	6,018	6,001	-16
その他の包括利益累計額	900	947	47
非支配株主持分	389	377	-12
純資産 合計	7,307	7,325	18
負債・純資産 合計	13,122	12,720	-402

※1 ネット有利子負債：有利子負債-現金及び現金同等物

※2 ネットD/Eレシオ：ネット有利子負債 ÷ 自己資本

第1四半期 キャッシュ・フロー計算書（対前年）

	2024年度	2025年度	増減要因
(億円)			
I 営業活動によるキャッシュフロー	662	111	前受金回収の減少、買入債務の支払増加等を主因に対前年で悪化
II 投資活動によるキャッシュフロー	-270	-217	設備投資は半導体向けを中心に継続も設備投資の減少を主因に好転
I + II フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	392	-106	
III 財務活動によるキャッシュフロー	-432	82	コマーシャルペーパーにより資金調達
IV 現金及び現金同等物の期末残高	653	589	

1. 2025年度 第1四半期実績	P. 4
2. 貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書	P.15
3. 2025年度 業績予想	P.18
4. 参考資料	P.21

第2四半期（中間期） 連結業績予想（対4/25予想）

1Q決算を踏まえて売上高、営業損益、経常損益、純損益を上方修正

（億円）

4/25予想

7/31予想

増減

第2四半期の前提為替レート

	4/25予想	7/31予想	増減
売上高	5,190	5,340	150
営業損益 （営業利益率）	340 (6.6%)	405 (7.6%)	65 (1.0%)
経常損益	310	370	60
親会社株主に帰属する 中間純損益 （純利益率）	190 (3.7%)	235 (4.4%)	45 (0.7%)

	US\$	EURO	RMB
4/25予想	¥140.00	¥154.00	¥19.80
7/31予想	変更なし	変更なし	変更なし

為替感応度※ （億円）	-0.5	0.3	1.0
----------------	------	-----	-----

※営業損益ベース（2025年7月-9月の3ヶ月影響）
US\$、EUROは1円円安変動影響、RMBは1%円安変動影響

4/25予想

7/31予想

増減

増減要因

売上高

営業損益

売上高

営業損益

売上高

営業損益

	4/25予想		7/31予想		増減		増減要因
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益	
エネルギー	1,630	150	1,660	175	30	25	・施設・電源システムのデータセンター向け需要増加 ・設備工事の電気設備工事需要増加
インダストリー	1,915	85	2,000	105	85	20	・ITソリューションのセカンドGIGA関連需要増加等
半導体	1,030	75	1,050	90	20	15	・産業分野の中国再エネ向け需要増加
食品流通	500	50	520	55	20	5	・店舗流通のコンビニ改装需要増加
その他	265	15	265	15	0	0	
消去または全社	-150	-35	-155	-35	-5	0	
合計	5,190	340	5,340	405	150	65	

通期 連結業績予想（対4/25予想）

上期の業績予想の修正を反映、下期は当初予想を据え置く
通期業績予想は国内外の市場環境、お客様の投資動向等を精査

(億円)	4/25予想	7/31予想	増減
売上高	11,400	11,550	150
営業損益 (営業利益率)	1,180 (10.4%)	1,245 (10.8%)	65 (0.4%)
経常損益	1,165	1,225	60
親会社株主に帰属する 当期純損益 (純利益率)	810 (7.1%)	855 (7.4%)	45 (0.3%)

第2～4四半期の前提為替レート

	US\$	EURO	RMB
4/25予想	¥140.00	¥154.00	¥19.80
7/31予想	変更なし	変更なし	変更なし

為替感応度※ (億円)	-0.9	0.9	2.6
----------------	------	-----	-----

※営業損益ベース（2025年7月-2026年3月の9ヶ月影響）
US\$、EUROは1円円安変動影響、RMBは1%円安変動影響

	4/25予想		7/31予想		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
エネルギー	3,745	465	3,775	490	30	25
インダストリー	4,135	405	4,220	425	85	20
半導体	2,230	215	2,250	230	20	15
食品流通	1,050	120	1,070	125	20	5
その他	580	40	580	40	0	0
消去または全社	-340	-65	-345	-65	-5	0
合計	11,400	1,180	11,550	1,245	150	65

1. 2025年度 第1四半期実績	P. 4
2. 貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書	P.15
3. 2025年度 業績予想	P.18
4. 参考資料	P.21

参考：第2四半期（中間期） 連結業績予想（対前年）

エネルギー、インダストリーが牽引し売上高、営業損益は過去最高更新

(億円)	2024年度 実績	2025年度 7/31予想	増減	
売上高	4,974	5,340	-48*	366
営業損益 (営業利益率)	403 (8.1%)	405 (7.6%)	-15*	2 (-0.5%)
経常損益	389	370		-19
親会社株主に帰属する 中間純損益 (純利益率)	355 (7.1%)	235 (4.4%)		-120 (-2.7%)

	2024年度 実績		2025年度 7/31予想		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
エネルギー	1,440	100	1,660	175	220	75
インダストリー	1,754	81	2,000	105	246	24
半導体	1,080	151	1,050	90	-30	-61
食品流通	583	87	520	55	-63	-32
その他	274	17	265	15	-9	-2
消去または全社	-158	-32	-155	-35	3	-3
合計	4,974	403	5,340	405	366	2

※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています

*為替影響

参考：通期 連結業績予想（対前年）

(億円)	2024年度 実績	2025年度 7/31予想	増減	
売上高	11,234	11,550	-135*	316
営業損益 (営業利益率)	1,176 (10.5%)	1,245 (10.8%)	-34*	69 (0.3%)
経常損益	1,188	1,225		37
親会社株主に帰属する 当期純損益 (純利益率)	922 (8.2%)	855 (7.4%)		-67 (-0.8%)

	2024年度 実績		2025年度 7/31予想		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
エネルギー	3,543	363	3,775	490	232	127
インダストリー	4,000	340	4,220	425	220	85
半導体	2,368	371	2,250	230	-118	-141
食品流通	1,115	139	1,070	125	-45	-14
その他	561	38	580	40	19	2
消去または全社	-354	-73	-345	-65	9	8
合計	11,234	1,176	11,550	1,245	316	69

※2024年度実績は、2025年度の事業組替の数値を反映しています

*為替影響

1. 本資料及び本説明会に含まれる予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は、将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。
2. 本資料は、情報の提供を目的とするものであり、弊社の株式の売買を勧誘するものではありません。
3. 目的を問わず、本資料を無断で引用または複製することを禁じます。